



Happy 10th Anniversary!

JUST THE WAY YOU ARE!!

PEOPLE, POWER, PRIDE!

CHANGE RULES!!

ENJOY DIVERSITY!

No one will be left behind

Be yourself

HAPPY PRIDE!

Solidarity

Celebrate yourself

in larger freedom

We are Happy Family!

TRANS RIGHTS ARE HUMAN RIGHTS!!

LOVE IS LOVE

SOME PEOPLE ARE GAY. GET OVER IT!

I'm an ALLY

Inclusion

Equality!

特定非営利活動法人 東京レインボープライド

2020年度 年間活動報告書

ANNUAL REPORT

2020.10.1 ▶ 2021.9.30



目次

- 02 ことば
- 03 沿革
- 04-05 TRP2021 テーマ・メインビジュアルについて
- 06-13 TRP2021 オンライン「#おうちでプライド」
- 14-19 TRP2021 オンライン「#おうちでプライド」開催概要&裏側
- 20-21 YOUTH PRIDE JAPAN
- 22 LGBTQの今を知る15選
- 23 多様な“かぞく”を考える～選択的夫婦別姓・特別養子縁組・同性婚～
- 24-25 オンラインブース
- 26-27 YouTube公開動画!!
- 28 東京レインボープライド 理事会・執行部メンバー紹介

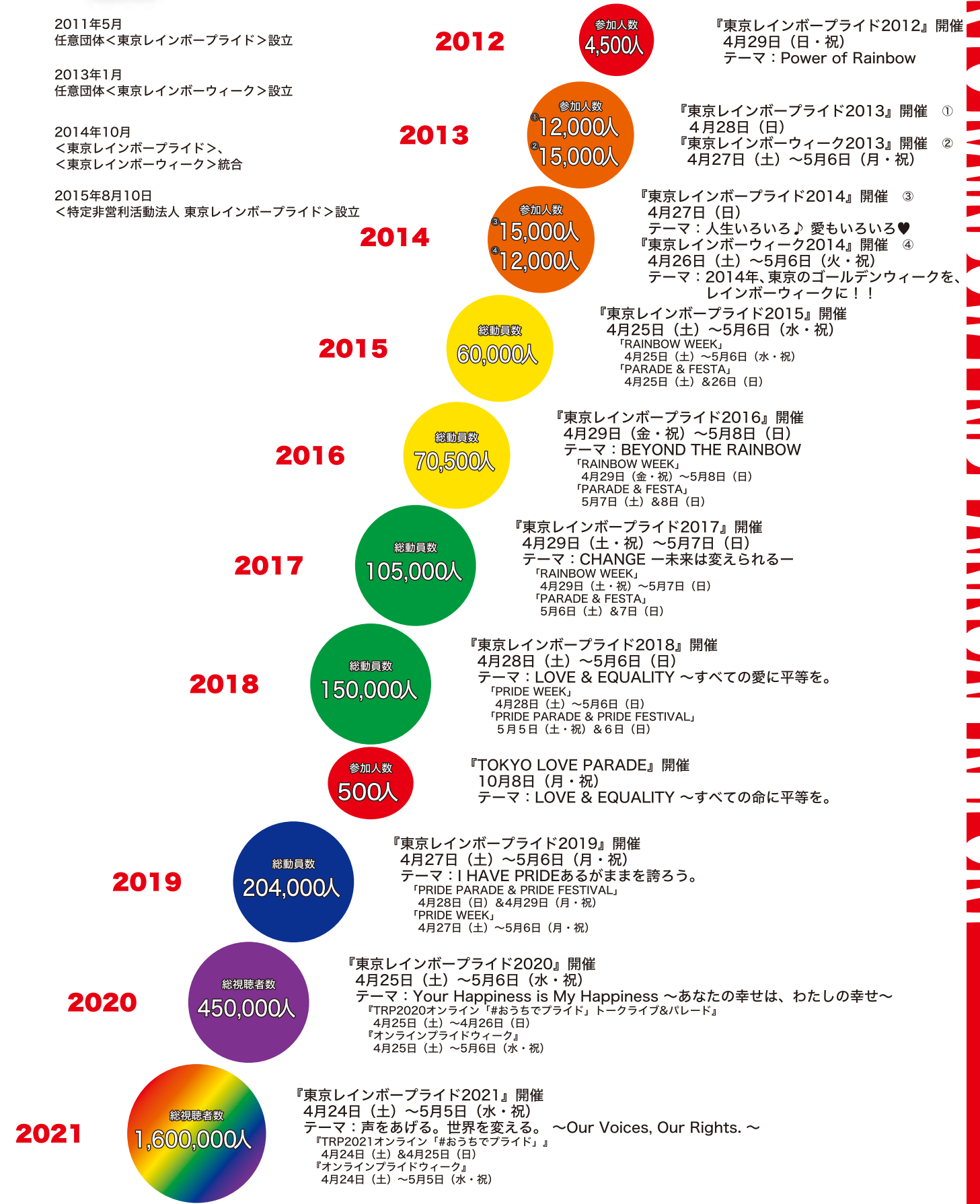
「特定非営利活動法人 東京レインボープライド」について

「らしく、たのしく、ほこらしく」をモットーに性的指向および性自認にかかわらず、すべての人が、より自分らしく誇りをもって、前向きに生きていくことができる Happy! な社会の実現をめざしています。
2015年8月設立。

ミッション

- MISSION 1：可視化**
多様な性が存在することをすべての人に見えるようにし、理解を促進する。
- MISSION 2：場づくり**
多様なセクシュアリティの人たちの交流が生まれる場をつくり、全国へ、世界へ、未来へと、LGBTQ コミュニティをつなげる。
- MISSION 3：課題の解消**
LGBTQに対する差別や課題を解消し、Happy! な社会の実現に向け行動する。

沿革



ごあいさつ



共同代表理事
杉山 文野

2021年4月に開催しました東京レインボープライド2021 (TRP 2021) オンライン「#おうちでプライド」は、総視聴者数160万と大盛況のうちに終わることができました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、残念ながら2年連続で代々木公園でのリアルイベント開催に至らなかったことは非常に残念でしたが、これほど多くの方にご参加いただくことができたのもオンラインならではのあり、また、それだけ注目度が高まっていることに身が引き締まる思いがいたしました。厳しい社会状況のなか、変わらずご支援いただきました協賛企業・団体・個人の皆さまには心より感謝申し上げます。

TRP2021のテーマは「声をあげる。世界を変える。Our Voices, Our Rights.」でした。より良い世界に変えていくために、この世界を形づくる様々なルールをアップデートすることが必要と考え、呼びかけた結果、家庭や地域社会の小さなルールから法律といった大きなルールまで、全国から多くの声が集まりました。その声を元に、ゲストの方々とトークを繰り広げることで、これから私たちが生きていく社会について楽しく、真剣に考える機会となりました。

また、トークライブだけではなく、「LGBTQの今を知る15選」や「多様なさぞくを考える～選択的夫婦別姓・特別養子縁組・同性婚～」、その他にも年間を通して視聴できるオンラインコンテンツの制作にも力を入れています。

次回、東京レインボープライド (TRP2022) については、代々木公園でのリアルイベントと、オンラインイベントのハイブリッド開催を目指し鋭意準備を進めております。リアルイベントとオンラインイベントの双方の良さを最大限取り入れつつ開催し、次回こそは皆さまと代々木公園でハイタッチできることを心待ちにしております。

どんな時も「らしく、たのしく、ほこらしく」、LGBTQに限らず誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指して、TRP2022を皆さまと共に作りあげたいと思います。

引き続きご支援・ご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

特定非営利活動法人東京レインボープライド
共同代表理事
杉山文野 山田なつみ



共同代表理事
山田 なつみ

東京レインボープライドは、2021年5月に設立10周年を迎えました。設立10周年の特別企画として、10回目の開催にあたる『東京レインボープライド2021』のメインビジュアルのイラストデザインを、全国から一般公募し、選考の結果ヤマダケンさんの作品に決定しました。

テーマである「声をあげる。世界を変える。」と、ステートメントに入っている「LGBTQだけではない。」という言葉からインスパイアを受け、6色のレインボーを超えたよりカラフルな言葉や想い、そしてそれを行動に移す象徴として、様々な手のイラストが散りばめられています。

声をあげる。世界を変える。 Our Voices, Our Rights.

声をあげる。

LGBTQだけではない。

性を、人種を、思想を超えて、
すべての人が平等に、
そして幸せに暮らすためには
変わってほしいルールがある。

わたしの未来のために、
声をあげる。

勇気ある一人ひとりの声が
広がって、世界が変わる。

Voice out

This isn't just for LGBTQ people

We need the policies to change
across all gender, races, and beliefs
so that everyone can be equal
and live happy, fulfilling lives

Voice out

For our Future

One courageous voice
Can change the world



TOKYO RAINBOW PRIDE 2021

声をあげる。
世界を変える。
Our Voices,
Our Rights.

今年のメインビジュアルはヤマダケンさんの作品

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人と人との繋がりが希薄になりがちな現代社会において、手を取り合い、肩を組み抱き合いながらパレードをした連帯の象徴として、「手」を共通イメージに持ち続けたいという意味も込められています。また、国連が掲げるSDGsの17のターゲットにあやかり、17のメッセージと手を配したイラストには、このテーマを一部のマイノリティのものではなくみんなのものとして広げていきたい、世界のみならずより良い未来をつつていきたいという気持ちを込めており、この作品が一人でも多くの人の目にふれ、この社会が変わるきっかけの一助になることを願っています。

■ヤマダケン

20年以上活動を続けている自身のバンドの作品づくり等からデザインを始める。作品はイラストから写真ベースのもの、タイポグラフィまで幅広いグラフィックのほか、音楽や映像など多数。仕事でダイバーシティ&インクルージョンの推進に関わったことをきっかけに、多様性に寛容な社会の実現を目指すアクションに興味を持つ。その後、LGBTQ+/SOGIEに関わるプロジェクトのプロデューサーとアートディレクションを担当したことを機に、より多様な人の声に刺激を受けながら、作品づくりを続けている。

Instagram : <https://www.instagram.com/yamadakensky>



●東京レインボープライド2021は今年もオンラインへ

これまで東京レインボープライドでは、当事者を取り巻く社会が少しでもよい方向へ変わるように、LGBTQの理解を深め、親しみやすい場所になるよう、そして何よりも「誰もが楽しい」と感じるイベントになるようにみんなで試行錯誤をしてきました。しかし、「LGBTQ」「多様性」という言葉は浸透しつつも、誰もが生きやすい社会への実現には、「楽しさ」を追求するだけでは、変えられないものがあることが分かりました。

2020年は、緊急事態宣言による外出自粛の継続や外出時のマスク着用など、日常生活に多くの変化やルールが発生し、それら新しいルールに適用しようと日々努力したと思います。「ルール」というのは、憲法や法律といった大きな枠組みのものから、日常生活の中で不自由に感じている学校や職場、地域の小さなルールまで様々なものがあります。ルールが変わることで、LGBTQだけではなく、すべての人が生きやすい世界に変わっていくことがあるべき未来の姿として、「声をあげる。世界を変える。」をテーマに東京レインボープライド2021の開催を決定いたしました。

昨年に引き続きオンライン開催となったものの、2021年は東京レインボープライドが10周年を迎える記念の年になることから、豪華ゲストの方々と共にこの10年での変化も踏まえてオンライントークライブを開催いたしました。

●Day1 4月24日(土)



菅 大介さん

株式会社チェリオコーポレーション
代表取締役社長

初めは2013年のTRPに社員が有志としてパレードに参加していたんですけれども、社内でどんどん広がっていき、2019年は当時500名の社員のうち4割の200人がどこかのプライドに参加するようになってきました。

私自身パレードで当事者の皆さんやアライの皆さんと歩いていると色々な気づきをいただきます。自分の中にあるアンコンシャスバイアスみたいなものを毎回感じますし、それを歩きながら認識して取り除いていくのを社内の皆と行っています。参加がきっかけで社内の結婚の制度を同性のパートナーでも受けられるようにしよう、差別の禁止というのを明文化しようと、社内が変化していきました。

「飲料」というものをメディアとして捉えると、チェリオは年間2億本くらいの飲料をお客様に提供しています。この2億ビューというとてもすごいメディアだなというのを考えました。自動販売機は日本全国で250万台置いてあり、この数はコンビニの50倍くらいの数にあたります。例えば地方の自動販売機は人のいないところにポツンとある印象があると思うんですが、売り上げが少ないから・トラフィックが少

ないから価値がないのではなくて、人がいないところこそ多様性の価値観とかがアップデートしづらい場所なのではないか？と仮説を立てて、レインボーウォーターや前身のレインボーティ、LIFEGUARDでレインボーの迷彩パッケージに「HAPPY PRIDE!」と入れた商品やポスターを全所に置いて、皆さんと一緒に歩いていきたいとメッセージを発信したら、SNSで「こういうところでサポートのメッセージをもらえると思っていなかった、ありがとう」とコミュニケーションが飛んできました。我々は持っている自動販売機が色々なところにある、今まで通りの価値観で見ていると地方とかだと価値が薄れていってしまっていますが、新しい価値観の発信のためのターミナルに変えていくことで社会のアップデートに役立つのではないかと考えています。

「のんでCHANGE!」という自動販売機では売り上げの一部が全国のプライドの支援へとあてられます。日々のジュースを買うというアクションでも、「のんでCHANGE!」の自動販売機で好きなものを買っただけで、プライドの日に様々な理由で行けなかったとしても、全国なプライドへの支援が時空を超えてできるということが面白いなと思い、「のんでCHANGE!」という自動販売機を作っています。



ロバート キャンベルさん

日本文学研究者、早稲田大学特命教授

最近では、リスクを伴うことですが若い人たちが学校あるいは職場で自分のセクシュアリティを公表するか、これはケースバイケースなんですけど、僕の周りでは結構フレキシブルに自分で判断して安心して皆に伝えたり理解があったりする、そういうことが最近では増えているということを感じますね。

日本の国民はそういう分岐点をすでに超えていると思いますが、まだ超えていないのが政治なんです。日本の人口の半分くらいはパートナーシップ宣誓制度の中にカバーされている状況ですが、国政はまだ動かない。伝統的家族を守ることが大切なことだとわかるんですが、「伝統的な家族」というのが一元的というか固まったものであって、今の動いている社会からは乖離して、例えばLGBTの権利や同性婚等を認めることによって何か壊れるということは、外国あるいは日本のデータから見ても実はそんなことはないかわかっているわけですね。日本独自の文化や人々の絆、社会を束ねる色々なルールを含めて、LGBTの人たちの権利とか当たり前の平等への欲求を満たすということは、社会を強くしていくと考えてます。政治家たちのもう一つもう二つ踏み越えていくことが問われているんじゃないかなと思います。

大切なのは政治家に声を届けるということです。投票ができる年齢は18歳まで下がったけど、日本の投票パターンを見ると中年から高齢の人たちに上がっていくほど投票率は上

がっていくけれども、若い人たちの声が届いていないのが現状です。若い人や当事者世代の人たちが投票すればいいんです。また、政治家に声を届けるために市役所、区役所、市議員、区議員、代議士にメールを送る、手紙を綴る、電話をかける等も大切です。その声の一つの指標になるんですね。声がどれくらい積み上がっているかは優先順位を決める上で重要になってくるので、私たちにもできることはあると思います。



SHELLYさん

タレント

私は海外と日本とでは入ってくる情報の差に驚いてました。「男の子と女の子、将来の幸せは結婚して子どもを授かること」みたいな、ラベルをペタペタと貼られるような世の中に違和感を感じていて、こういう教育の中だと偏見も生まれるよなとか、その箱にすっぽりはまらない人は生きづらいよなとずっと思っていて、これの大元って何だろうって考えた時に、私の中での答えは性教育だったんですね。

性教育っていうのは、子どもってどうやってできるんだろう？だけではなくて、例えば交際教育とかジェンダー教育とか、自分の身体のことを知る、色々な人の身体のことを知ることで、自分を大事にして相手を大事にして。そうするとあの人は変みたいな発想は生まれないだろうし、しっかりと教育をすることで色々な選択肢があって皆のびのび生きてほしいよねっていう考え方になったらいいなと思い、『SHELLYのお風呂場』というYouTubeを始めました。

届く声には「恋愛感情や性的欲求がないけど私って変ですか？」って言う子いたり、「全然変じゃないよ！」って伝えたくて、アセクシュアルとか色々なセクシュアリティがあるんだよってことを知らない、周りの皆は恋愛とか楽しんでるけど自分っておかしいのかなっていうような自己嫌悪のような気持ちになっちゃう人もいたりして、これも教育としてチャンネルで取り上げていこうと思います。若い子は本当に悩んでいる子がいっぱいいます。





廣瀬俊朗さん

株式会社HIRAKU代表取締役、
一般社団法人スポーツを止めるな共同代表

まだまだ僕たちが知らないということがスポーツの現場ではあるのかなと思うので、色々な人がいるとか色々な意見があることを知りながら、トップのアスリートの人たちが声をあげながら変えていくことが正しい姿かなと思うので、トップからグラスルーツまでの両方で進めていけるといいのかなと思っています。



落合陽一さん

メディアアーティスト

最近、番組で夫婦別姓の話がよく取り上げられていますが、夫婦別姓がなぜ認められないのかが1mmも分からないというのが最近の僕の結論です。同性婚についても認められない理由が理解できません。反対する人たちのお気持ちは理解できるけど、人間はお気持ちを乗り越える生き物ですからそろそろいいでしょって思っています。

僕はもともと菅さんと仲良かったんですけど、菅さんが総理に就任した時に「同性婚できるようにしたらどうですか？」ってメッセージを送りました。政治がやはりこういう課題に対して位置が近いので、例えば地元の政治家に声を届けるというのが一番効果的なんじゃないかと思っています。



笹井明日香さん

ヴィーブヘルスケア株式会社
渉外・医療政策・患者支援 マネージャー

HIV感染症というのは今は性行為で感染するということがすけれども、セクシュアリティは関係なく誰でも感染する可能性がある疾患ではあります。ただ今の現状で見えますとLGBTQ当事者の中でもゲイ男性やバイセクシュアル男性に影響が大きいかなというところが現状です。3年ほど前に内閣府が世論調査を行っていて、「エイズは死の病だ」と回答された方が50%以上ということで、まだまだそういうイメージをお持ちの方がいらっしゃるんですね。NPOや行政、医療従事者の方々が検査を受けやすしたり、HIVの疾患に対する怖さという昔の印象のようなものを変えるような発信をされたりしておりますが、一方で地方やインターネットの近くにいない方のように声が届いていないところがまだあって、企業としてサポートがされていないところにあることがないかなと考えると、東京レインボープライドのように全国に発

信をされるイベントに企業だからこそ協賛という形で一人でも多くの人に、必要な人に情報を届けられたらいいなと思っています。



ブルボンヌさん

女装パフォーマー・ライター

「オカマ」って言葉について、とある方がご自身のことをそう自称されていて、それを載せてるメディアさんが自粛した時に論争になったことがあって。自身が感じて、しっかりくるといふ自称を他者がそれを使っちゃダメみたいな問題があったのね。「オカマ」に関しては私自身も正直愛憎の末の愛はあると思うのよ。そこには痛みと歴史をもってでも愛はあるのね。だからこそ旨味がわかっている者同士、言っちゃえばプロ同士。プロ当事者同士は「何よあんだ、嫌なオカマね」みたいなことを女装の楽屋で言うことは、それでこそ伝わる信号ってあるから、抹消される感じは嫌なんですよ。

でも、当然知識としては今どうなってるかはわかってるから、何も知らなそうな人が「はじめまして、あなたはオカマですね」って言ったら「何も知らないな」と思うぐらい私にも不快のトリガーもあるから、何でもそんなだけ使い所。本当は言葉って言葉だから、どんな時にどんな人がどんな表情で何を伝えたくて、それを読み取る関係性もあってのことだと思ってる。痛みの歴史を含んだ上の苦味とかの面白い味わいを使いたい人は使わせてもらいたい。だから公の場でガンガン使えとは思ってない。



阿部知代さん

株式会社フジテレビジョン 報道局

東京レインボープライドの司会を初めて行った2013年の頃ってというのは、司会をやりますって言うと、「政治活動？」「同性婚にまつわる政治的な活動に巻き込まれた？」という方が多い時代でした。

去年、足立区議やさいたま市議がセクシュアルマイノリティに対してとても理解のない差別的な発言を行ったこと、もうちょっと前まで遡ると、自民党のある女性議員がひどい発言をした。あの辺りから動き始めたなと思っていて、今年でいうと森さんの発言で、私はあれはとても大きかったと思っていて、あの発言は「男女」のことだけど、それまでもLGBTQに関する流れがあったから、森さんの発言を、男女の問題だけじゃなくて、ジェンダーの問題としてみんなが捉えた。ジェンダー平等という捉え方をしてくれたのがすごく嬉しくて、男女平等とセクシュアルマイノリティの権利

ていうのは地続きの問題だから、それを皆が女性として言われて嫌だったこと、セクシュアルマイノリティとして拒否や差別されてきたこと、皆が一緒になって考えられるようになったってことは怪我の功名というか、すごくいい流れに来てるんじゃないかなと思っています。

同性婚のニュースも夫婦別姓のニュースも各社ニュースで取り上げるようになったし、ジェンダーやLGBTQのことがニュースになることが珍しくなくなって、私も社内でも色々口を出したりしてる感じです。

私はニュースの仕事をしていて、街頭インタビューってありますよね。街頭インタビューに答えてくださった方の横に、今は出ないんですが「50代女性」とか「20代男性」って出てました。ちょっと前までは出て、私はそれがすごく嫌で。街頭インタビューをする時に、「失礼ですがおいくつですか？」って聞くんですが、その人に「あなたは男性ですか？女性ですか？」って聞いているの？と。聞かずに見た目だけで女性とか男性って表示するのはものすごく危険なことだし、とても問題は大きいと思うという話はして、今その表示はなくなりました。そういう意識は確実に報道の現場でも敏感になってきたなと思います。元々マスコミというのは、特に報道は、男性的な縦社会が未だに残っていたりするので、少しずつ変わっているなと思えるのは嬉しいです。

今後のTRPに期待することとして、子ども、親子が安心して参加できる子ども向けのLGBTQワークショップとかクラスとか、教えられない先生もたくさんいるだろうから大きな規模でできるといいなと思います。パートナーシップ宣誓制度だと進んでいる地域と進んでいない地域があって、父親の権利が強いというような昔ながらの家制度が残っている地域とかだとなかなか進みづらかったりするけれど、そういうところの小学校に知ってもらおうというような取り組みもできるんじゃないかなと思っています。



水原希子さん

俳優・モデル

水原希子：私が6~7年前にある番組でドッキリを仕掛けたんですが、その内容っていうのが今自分で言うのも本当に嫌なくらいレズビアンの方々にに対して差別的な内容だったんですね。私と私のマネージャーさんがレズビアン関係であるということを隣の楽屋にいるタレントさんに匂わせて、最後に「違いました」みたいなことをいうような内容でした。今自分で言うだけでもあり得ないし、無神経すぎます。その当時の私は映画の宣伝で出させていただいたんですが、仕事だと思ってやっていたんですね。本当に正直なところ。そこに関しての違和感っていうのは当時の自分は無かったなと思います。

その当時は「これはいかがなものか」というコメントと

かはなくて、自分がしてしまったことに対していかに差別的だったかということとをずっと気付かずに何年も過ぎていって、ここ最近Twitterとかのコメントで「レズビアンの方に対して差別的なことをしているのに、こういう活動をしていることに違和感を覚える」と言う方が何人かいらっやして。それはそうだったし、自分でも振り返って考えてみたら、なんてひどい企画なんだと思ったし、何も違和感を覚えずに当たり前のようにそういう差別的なことをしてしまっていたことは、その間ずっとトラウマだったり嫌な思いをさせてたかもしれないって思うので胸が苦しくて。

このこと自体を東京レインボープライドで話すのってどうなんだろうって思っていました。文章にするのは嫌で、自分の言葉で面と向かって伝えたいなってずっと感じてたことだったんですけど、あれは本当に差別的なことだったし本当に申し訳ないなって。

気付けたのは、たくさんの方がSNSとかでジェンダーのことを発信してくださったりとか、この間、多くの人に出会って、色んな国に行ってジェンダーのことを教わって教育をしていただいて気付けたから、そういう世の中になって良かったなとも思ったし、そういう声がSNSを通してですけど届くって環境がすごくありがたかったです。気付かせてくれて本当に感謝しています。

杉山文野：個人的なことは政治的なことって言葉もありますけども、ふわっと「世の中変わるいいですね」と言うよりも本当に自分ごととして、時間が経って振り返ってみると、やっぱりあの時の自分は間違ってたよねと、そこから学んで今があるんだということ、改めてそこに立ち返ってお話いただけることはなかなかないと思うので、本当に貴重なお話をさせていただいたなと思います。

ブルボンヌ：アメリカとかでも10年前の何かが掘り返されて「こんなひどいことを言ってたやつだ」みたいなので色々なことがキャンセルになっちゃっている問題ってあって、時代は変わると考え方は変わるし周りの人たちの反応も変わるのに、そこだけ突然タイムワープしたみたいに判断されるのって可哀想だなんていう面もいくつかはあると思うのね。

希子ちゃんもお店に顔を出してくれたりしてたから、悪意があってやってることじゃないっていうのは直接に接触をしていたり、色々な面を見ていけば肌で感じられるんだけど、切り出した情報だけ見た人はそれだけで遮断しちゃったりする。それってとてももったいないことで、それを乗り越えて本音を喋ってくれた希子ちゃん、超かっこいい！

水原希子：どんどん価値観をアップデートしなきゃいけないと思うことは、ジェンダーしかり色々なことで感じるなって思うんですね。失敗しても指摘してくださる環境とか、失敗した人を切り捨てる世の中ではなくて、こっちがアップデートしていかないといけないことで、そういう環境があったから成長できた部分もあるので皆に感謝しています。

●Day2 4月25日(日)



せやろがいおじさんさん
(リップサービス)

お笑い芸人

世の中的にジェンダーの意識も高まってきて、男らしさとか女らしさとか、男は女と付き合っ、女は男と付き合っ、みたいな、その枠の中だけじゃないということに多くの人が気づき始めていて、あとはきっかけさえあれば気付く人たちにどう届けていってかどうかなと感じています。



山縣真矢さん

東京レインボープライド 前共同代表理事
現顧問

これまで代表をやってきて、最初の5年は特に大変で、それこそスタッフが当日着たビブスを全員分持って帰って自分で洗濯して干す、みたいな時期もありました。

毎年若い子が何人か入ってくれるんですけど、育てようと思ってパレード終わってしばらくしたら「続けられませぬ」と。ちょうど20代、30代は進学や就職で人生の転機が色々ある時期で、せっかく若い人たちと一緒にバトンタッチをしていきたいと思いつつ、手塩にかけてと思ってた人たちが辞めていく、そしてまた新しい人を探さないといけない。そういう時の代表だったことに孤独を感じたこともあったんですね。誰に相談していいかもわからないし、そこが一番辛かったなと印象がありますね。突発事項も起きたりするし、夜中だろうと文野くんにも連絡をしたりと、毎年直前になるとこれで終わろうと毎年毎年思ってたけれど、でもやっぱり当日の皆さんの笑顔とかを見ると、「また来年も」となっちゃうのがパレードの中毒的なところですね。

ちょうど僕は今はアーカイブに興味があって、残すってことも大事なことになるので、東京を含めパレードの歴史等を残して、それをまた次の世代に託していければいいなと思っています。



嶋ピーターさん

株式会社セールスフォースドットコム
Industry Value selling事業本部
コンサルタント

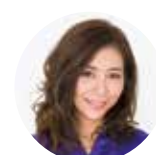
セールスフォースには12の「Equality Group」というものがあって、色々な平等に取り組んでいます。その中でも「Outforce」ではLGBTQ+に対しての平等を理解促進するという活動をしており、今年は婚姻の平等について色々な

企業と共に声を上げていく活動をしています。

グローバルのチームでミーティングをしている時に、海外ではすでに婚姻の平等が成立しているところもあり、こういうこともやっていこうと話があがっても、まだ日本が認められていないことで、そのギャップに歯痒さを感じることがあります。海外ではもっともっと先の話をしているのに、日本ではこれから。日本でも認めてもらえるよう手伝ってもらっています。海外で活発なのはプロナウンの話で、He/HisやShe/HerまたはThey/Themを自分の名前の後ろにつけて、会社をあげて全員が外に対しても自分を語ろうという風になっています。

日本でも差別を恐れて声を上げられなかったところから、大分声を上げられるようになってきて、LGBTQ+の人も近くにいることが理解できるようになり、自分が持っている課題とか将来の不安とかを共有できるようになりました。法律の先の話だから関係ない話ではなくて、身近な話として皆が考えていけるようになるといいなと思います。

ジェンダーステレオタイプというのが色々なところに影響すると思っていて、例えば男性はこうあるべき、女性はこうあるべきってもの。性自認ってバイナリーではないので、もっともっと広く自由に自分を発言するとか表現するチャンスができればいいと思います。先日、Youth Pride JapanのYouTubeの動画を見ましたが、企業でもやはり制服の問題というのはあって、「こうあるべき」という、そういう考え方を変えたいなと思っています。



ミラクルひかるさん

ものまね芸人・タレント

社会に実際に出ると女性として実体験で感じてしまう部分があります。男性社会に入ると確実に起こる現象があって、例えば会議とかでも男性が8割で男性同士の会話が進行してしまっ、女性がポツンといる状況ってものを何回も味わったことがあるんですよ。男女平等であるにも関わらずその居心地の悪さを体験したことがあるからこそ、女性が声をあげるんですね。

TRPの活動もそうですけど、やはり社会に対して何か違和感を感じている人間が声をあげて、やっとそこから動き出す。そうやって声をあげることで変化が起きていって政治の世界に届き、世界が変わってくるってことが連続で起こっていると思うので、声をあげることは大切ですね。一方で、言葉にできない人もいて、そのもどかしさから無意識にストレスを抱えてしまっていることもあると思うんですね。言葉にできる人がそれを汲み取ってくれて社会に反映させていくことも大切だと思います。



YOUさん

タレント

LGBTQの悩みに限らず自分の悩みを話せる人がいることってすごく大事だなと思います。一人で抱え込むのが一番良くないことなので、友だちにも「いつでも言ってね」って言いますし、「悩みを聞いてくれる友だちを見つけるべきだ」って話もします。口から出すとちょっと楽になるじゃないですか。話せる身近な相手を作って欲しいなと思っています。



テリー伊藤さん

演出家

「ズバリ同性婚はどうですか？」って聞く方もおかしいですよ。だって愛し合ってるんだから。普通の結婚をしたとしても、何が普通かはわかりませんが、離婚する夫婦もいる。別れたっていいんですよ。ここがポイントで。そういうナチュラルな部分になるといいですよ。

例えば同性カップルが結婚すると記事になっちゃうじゃないですか。今度は別れたら記事になる。世の中には同性カップルかどうかは関係なく別れている人はいっぱいいるのに。別に記事にする問題でもないですよ。

同性婚が今後進んでいくためには、僕らが声を出していくことが一番だと思います。世論が動けば政治家も動くわけですよ。僕も含めいろんな人が発信していくことがすごく大事だなと思います。



アンミカさん

モデル・タレント

先日のレスリー・キーさんの結婚式、素晴らしい愛のメッセージを世界中に発信されていて良かったですね。誰かが幸

せになることを、シンプルに喜び合うっていうのが人間として大事なことだと思うので、誰かが幸せになるために、自分が自分らしくいることを喜び合うことが、皆の共生につながると思ったので、素晴らしい第一歩とか第百歩ぐらいだなと感じました。

誰かの手を差し伸べるきっかけとか優しさとか、そういうものが揺れたりぶれたりしながら、悪いことではなく、器を揺れて作っていくのが強さなんだと教会の神父様に学ばせていただいて。私が幼少期に落ち込んでいた時に、障がいがあるお友だちがいたり、肌の色で悩んでいるお友だちがいたり、LGBTQの方がいたり、幼少期から自分の周りには垣根がない環境で育って。

「強さ」で私はタロットカードの大アルカナのカードに「POWER」ではなくて「FORCE」って書いてあるのが好きなんです。絵も戦車とかではなくてライオンを撫でてるお姉さんなんです。これってライオンに食べられそうになりながら戦うんじゃないかって、お腹空いたよなって撫でて、相手と共生して共感しようとするのが「力」だと、700年前の13世紀から言われているということで、それをたとえにそういう人間になるんだよと、いっぱい傷ついたことがあるんだって大人になって寄り添える心が強さだと教わって、自分がそうありたいなと思っています。



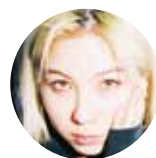
朝貝亜寿沙さん

P&Gジャパン
ヘアケア ブランドコミュニケーションズ
シニアマネージャー

パンテーンは「あなたらしい髪的美しさを通して、すべての人の前向きな一歩をサポートする」というブランド理念を掲げ、2018年より「#HairWeGo さあ、この髪でいこう。」というブランドメッセージの下、自分らしさの表現やひとりひとりの個性の尊重について皆で考えるきっかけづくりということを行っております。

2018年に就活のひつつめ髪をテーマに展開した、就活をもっと自由にというキャンペーンを皮切りに、地毛証明書の黒染め問題をテーマにした「#この髪どうしてダメですか」などのキャンペーンも展開してまいりました。

2020年の9月から、#HairWeGoのキャンペーンの一環として、LGBTQ+の元就活生の体験談をきっかけに生まれた、「#PrideHair」プロジェクトを展開しております。メッセージ広告を新聞やテレビCMなど、ご覧になっていた方もいらっしゃるかと思うんですが、様々な場所で展開しました。LGBTQ+フレンドリーなサロンを呼びかける活動など、自分らしい髪を通して多くの方が前向きな一歩を踏み出せる後押しを進めてまいりました。結果として、プロジェクトは1週間で2000万回再生ですとか、SNSを中心にシェアいただきまして、多くの方から共感や賛同の声をいただきました。



長谷川ミラさん

モデル

2、3年前にイギリスのロンドンにある美大に通ってまして、イギリスってそもそもエコ大国で有名で、日本でもあるレジ袋の有料化は当時からずっとあったり、タクシーに乗った時に「この社会問題についてどう思う？」って意見を求められたり、たまたま入ったカフェで隣の人の会話が社会問題についてだったり、社会問題に対しての意識の盛り上がり半端じゃなくて。

ファッションって社会問題と密接していて、いきなりオシャレな物を出すのではなくて、例えば男女平等の問題があるよねとか、LGBTQに対してこういうサポートしたいよねっていうので、ファッションのコレクションをリリースされたりしてるんですけど、そういう部分を美大で学んでいくうちに、例えば同級生が45%くらい海外勢だったんですが、皆それぞれ自分の国の問題を話せる子たちばかりで、「日本はどうかの？」って言われた時に、「日本は・・・」みたいに、日本の問題が出てきたとしてもそれに対する意見や解決策を持っていないことに恥ずかしくなってしまう、日本にいたときにそういう感覚って無かったよなって恥ずかしくなったことをきっかけに、日本にいる若者と社会問題に対して考えていきたいなって思って、帰国してソーシャルメディアの発信を中心にしております。

当時は若者でも例えばLGBTQって言葉やフェミニズムって言葉を知らないフォロワーさんが多かったんですが、最近はこのコロナ禍で政治に対する関心が世代関係なく高まってきていて、LGBTQやフェミニズムっていうようなフレーズを皆ある程度はわかってきていると思うんですけど、情報には溢れているけれど、その一歩先は何をしりたいんだろうってところまで辿り着けてない若者が多いのは現状だと思います。



夏木マリさん

芸能界ってという括りがあるとしたら、それこそ私もマイノリティですから。でも今までのトークで皆さんも仰っていたように、自分らしく自分がハッピーに仕事をできることが一番幸せだと思っているので、私はその思いで突き進んでます。

性の多様性って言葉があるとすれば、文化の多様性もあって、それを協調したいと思っていて、エンターテインメントに携わる人間として、こういうイベントに出る機会があれば少しでも行動していきたいって思ってます。

今回のテーマでも「声をあげる。世界を変える。」ってことだけでも、行動することがとにかく皆の気持ちが動く第一歩だと思うのね。(TRP2014に出演した時)私もお友達にたくさんいるから、全然躊躇は無かったですよ。

私はすごくコンプレックスの塊で、本当はこういう仕事に向いてないと思いつつ、色々なことにチャレンジして自分を発見してきたのね。ある時、『印象派』という自分を作って演出して舞台を作った時に、一人ひとり違うのねってことにやっと気がついて。自分がヒロインでいい、自分がヒーローでいい。そこから行動的になりましたね。

それまではいつも悩んでたし、コンプレックスがあるしで、自分らしく生きられなかったし、私たちのような仕事って自分の代表作を持てると自信がつくからね。自分を信じられるっていうのかしら。自分を信じられた時が『印象派』を作った時なので、その時は毎日を夢中に過ごせたんですよ。毎日を夢中に過ごしていくと、自分を信じられるんだなってその時感じた、1993年の頃から。やっぱり自分が自信を持つていくと行動もできるし、周りも付いてくるから。世界を変えるためにはまず自分が動くってことだと思うんだよね。

ちょっと傷ついたり失敗したりすることが人生にはたくさんあると思うんだけど、その傷ついたり失敗することを重ねることもすごくいい経験だと思って。私自信、皆さんに見ていただけているところは成功例しか見ていただいてないですけど、水面下では失敗だらけですよ。でも私がこういうことをチョイスした時期があるわけだから、それをよしとして前に進まない楽しくないから、あんまり悩まない。引きずらないで前を見た方が良くないですか。これが「人生」だと思ってます。

応援メッセージ提供

- 青山テルマさん アーティスト
- 東ちづるさん 俳優 / 一般社団法人Get in touch代表
- 石川大我さん 参議院議員
- 大井川和彦さん 茨城県知事
- 尾辻かな子さん 衆議院議員
- kemioさん 動画クリエイター
- 小池百合子さん 東京都知事
- 下山田志帆さん サッカー選手
- 鈴木英敬さん 三重県知事
- ハリー杉山さん タレント
- 滝沢ななえさん 元バレーボール選手
- 八方不美人さん アーティスト
- ヒル ライアンさん EQコーチ
- 青森レインボーパレード
- IWATE RAINBOW MARCH
- 九州レインボープライド
- さっぽろレインボープライド
- 名古屋レインボープライド
- 奈良レインボーフェスタ
- ピンクドット沖縄
- 三重レインボープライド
- レインボーフェスタ和歌山

パートナーシップって日本海側あまり進んでないのなんで？いるよ？(石川県)

他人と同じでないって迫害される地域です。全体主義と仲間外れが横行し違う地域からの移住者はわがままなのは？勝手なことをするのは？とうかがっています。気にせず生活していることができません。地元以外の他人に対するリスペクトが皆無です。どうせこうだろうこのように対処しとけば黙ってるだろうととても尊厳を傷つけられています。長い歴史、財産を持ちながら誰にも伝わりません。どうか考えて欲しいです。(長野県、F)

いろんなジェンダーの人が周りの目を気にせずに生活できる国にしたい！しよう！(東京都、ストレート)

【性別表記をやめて欲しい。】男か女か区別する事って、そんなに大切でしょうか？みんな同じ人間ですよ。(東京都、中性)

選択的夫婦別姓を早急に認めてほしい。名前はアイデンティティであり、私自身変えたくないし、相手にも無理して変えてほしくない。(東京都)

表面のみの『配慮』ではなく、どんな「性」をもつ人も等しく『選択』できる世界に、『豊かさ』を共有できる社会に。(京都府)

僕は、自分をFtMと認識してます。相談できる友達が数人いますが、家族に言える勇気がありません。成人式では、振袖ではなく袴を着たいのでそれまでに親には話したいです。LGBTの当事者の方がどうやって家族にカミングアウトしたのか知りたいです。(京都府、トランスジェンダーゲイ、FtM)

医療において性別の欄を廃止して、任意で記載する制度が必要であると考えます。(兵庫県)

学校も地域でも学生服の多様化が進められています。制服選択は、mtfにとってはカムが前提なのかと高い壁をまだ感じています。性別的な思想を少なからずカテゴリーされる教育過程。制度の整備も必須課題、もっと人にとって気持ちの部分で寄り添える事が大切だと思います。今ある事を変えるのは難しい事なのかも知れませんが、各家庭ベースで性別に囚われない思想が構築される事を切に願います。※教育は学校だけではないです。(広島県、mtf パンセクシュアル)

フリーランスのイラストレーターで活動を始めました。同時に周りにもカミングアウト。生きづらさを感じていた自分の経験を活かし、絵を通じて人を笑顔にしたいことを理解してくれました。がんばります。(熊本県、ゲイ)

女性と結婚して、親に孫の顔を見せることだけが親孝行なのだろうか。ありのままの自分を知ってもらい、違う形で親孝行したい。(山形県、ゲイ)

多種多様な人々がいます。自分らしく生きることができる社会でありますように。(栃木県)

シンママカップルは共同親権が欲しい！(栃木県、パンセクシュアル)

結婚はして当たり前、恋人は異性なのが当たり前という学校の人達や両親の考え方が嫌だと感じる。(埼玉県、無性Xジェンダー)

恋愛も結婚もしないって選択が尊重されるようになって欲しいな。したくないのに理由なんてないんだよね。(栃木県、無回答)

理屈ではわかっていても何気ない一言で傷つけてしまうことがあります。(東京都、male)

大切な友達が電車で飛び込んで自殺した。ゲイってことだけでまだまだ生きていく世の中なんだよ。社会が変わってくれないと悲しむ人が減らない。(東京都、ゲイ)

SNSに寄せられたメッセージ数 9,222件

同性結婚出来て、結婚休暇や配偶者控除などできるようにしてほしい！！(大阪府、ゲイ)

最近話題の「ジェンダーレス制服」についてどう思いますか？私は男女共通の制服にしてしまった方が、「普通異性が着る服」を着た時のリスクや見た目での区別が無いためのいいのではないかと思います。(岡山県、シスジェンダー・パンセクシュアル)

あらゆるところに出現する性別欄からなくそうか。あれはもういらないでしょ。必要なのに書かせる書類多すぎ。(地域無回答)

全てのカップルや性的マイノリティ、そしてその人たちの間で育つ子供達の人権が守られる、誰もが安心して暮らせる日本になりますように(地域無回答、ピアン)

法改正とともに性暴力のない美しい地球になりますように(地域無回答)

同性パートナーシップ導入を上司に打診したら、「町に当事者が居るって聞いたことがない」「必要だという声が無いと厳しい」と。目の前に居るんだけど！！！！(青森県、体は男・中身はほぼ男(たまに中性)・デミセクシュアル)

秋田ではまだまだ性的マイノリティ(だけでなくいろんなマイノリティ)の可視化が進んでいません。「ここにいるよ」という私達の声が、世の中に伝わってほしいです。(秋田県、Xジェンダー)

職場で、上司何人かに呼ばれて、知識もないのに『病院に入ったの？』『お付き合いしたことあるの？』『社内恋愛禁止』『更衣室も別で』って言われました！そんな事聞かれる社会を無くしたいです！(千葉県、レズビアン)

生命保険の受取とか、財産分与が自由になってほしい。自分の代だけの先行きに安心が欲しいです。(神奈川県、ゲイ)

LGBTQという表現がない社会へ。好きを好きと堂々と胸を張って！(神奈川県、バイセクシャル・クエスチョニング)

男だと女だとか分けなくて。誰もが自分の感じるセクシュアリティで生きたい。個人を尊重する社会へ！(神奈川県、クエスチョニング)

新任の先生が赴任してきた際や、友達同士での会話で“パートナーはいらっしゃいますか？/パートナーいる？”という言葉が呼びかうようになればいいと思います。(静岡県)

男2人で賃貸契約できる物件が少なすぎて家探しが大変だった。もう少し寛容な世の中になって欲しい。(愛知県、ゲイ)

今年、社会人1年目です。総務系の部署に配属されました。男女別の色の制服であったり、更衣室が男女のみの設置であったり、性別欄が至る所で見られたり、同性パートナーが福利厚生制度を活用できるかが不透明であったり、ぶつかる壁が多いと感じています。なかなか声を上げられず、悶々とする日々ですが、まずはこうして言葉にすることで、社会に届けていくことから始めます！！(奈良県、クエスチョニング)

パートナーシップ制度が引越越しに伴って使えなくなるのは知らなかった。それに県内ではまだ導入してないところも多いですよー(香川県)

結婚制度は法的に日本国内だけの制度でなく全世界共通に整備して欲しい。異性婚のみ法的に認められて先進国で認められるはずの同性婚が日本だけ認められていないのが現状。(アメリカ・カナダ、ゲイ)

※寄せられたメッセージや自認するセクシュアリティ等は原文のまま掲載しております。

TRP2021オンライン『#おうちでプライド2021』開催概要

これまで「東京レインボープライドの」は東京都渋谷区代々木公園での開催であることから、渋谷区の後援をいただき開催しておりましたが、「東京レインボープライド2021オンライン『#おうちでプライド2021』」では、オンライン開催であるからこそ全国から皆様安心して参加していただけるよう、多くの自治体に後援の申請を行い、83の自治体より後援をいただくことができました（茨城県は県単位）。

東京レインボープライド 2021 後援一覧

< 4月24日・25日のみ >



※地図内の●は後援の市区町村、茨城県は県単位のため県全体を色付け

東京レインボープライド2021オンライン『#おうちでプライド2021』開催概要

日時：2021年4月24日（土）&2021年4月25日（日） 両日13:00～18:00 配信：Twitter、YouTubeにて同時生配信
 主催：特定非営利活動法人 東京レインボープライド
 後援：インターネットメディア協会、自治体後援（上記地図の通り） メディアパートナー：InterFM897、BuzzFeedJapan、COURRIER JAPON
 PRパートナー：株式会社ギークビジュアルズ、株式会社G.G.C、株式会社アンティル、Tagboard、Twitter Japan株式会社、YouTube Japan
 協賛：Rainbow 株式会社チェリオコーポレーション
 Diamond ヴィーブヘルスケア株式会社、Vans Japan
 Platinum 株式会社セールスフォースドットコム
 Gold LGBT FINANCE、P&G ジャパン合同会社
 Silver AIG Japan、Indeed Japan、株式会社ダイバーシティー、Tinder Japan、日本マイクロソフト株式会社、PwC Japanグループ、Facebook Japan
 Bronze アクサ生命保険株式会社、アクセンチュア株式会社、アツヴィ合同会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル・インコーポレーテッド、株式会社エーピーコミュニケーションズ、auじぶん銀行株式会社、KDDI 株式会社、KPMG ジャパン、サイボウズ株式会社、日本イーライリリー株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ、スプリングパレード株式会社、Disney、日本電信電話株式会社、日本ロレアル株式会社、日本ヒューレット・パッカード株式会社、野村ホールディングス株式会社、パーソルキャリア株式会社、havaianas、P.VH ジャパン、株式会社ビスリーチ、ファイザー株式会社、freee 株式会社、Hotels.com、本田技研工業株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、ライフネット生命保険株式会社、株式会社スープストロクトーキョー
 オンラインブース・パナー
 大学ダイバーシティ・アライアンス、認定 NPO 法人 虹色ダイバーシティ、おやこ休憩所 @ にじいろかぞく online、LGBT-Ally プロジェクト、一般社団法人 MarriageForALLJapan - 結婚の自由をすべての人に、プライドハウス東京、株式会社 TENGA、株式会社 ドン・キホーテ、株式会社 TOOT、株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、株式会社 三井住友フィナンシャルグループ、株式会社 丸井グループ、株式会社 アカルク、SORA、COLORS JAPAN、株式会社ナイキジャパン、デロイト トーマツグループ、イクア・ジャパン株式会社、オランダ王国大使館、カナダ大使館、株式会社 クール・シー・キューブ、東急株式会社、株式会社 東急コミュニティー、Pinkoi（ピンコイ）、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、セガサマーホールディングス株式会社、SKYY BLUE、リザライ、ヤフー株式会社、R&C 株式会社、認定 NPO 法人ふれいす東京、REING、三井住友トラスト・ホールディングス、ソフトバンク株式会社、プリティッシュ・カウンシル、プリモ・ジャパン株式会社（アイプリモ）、ソニー株式会社、日本郵政株式会社、ENEOS 株式会社、パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社、NTT テクノクロス株式会社、アフラック生命保険株式会社、株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント、リーディングテック株式会社、株式会社リクルート住まいカンパニー（SUUMO）、株式会社 ソニー・インタラクティブエンタテインメント、Slalom Japan、プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社、ヤマハ株式会社
 総視聴者数：1,595,342人【Day1 総視聴者数 760,635人、Day2 総視聴者数 834,707人（※TwitterとYouTubeの視聴数）】

TRP2021オンライン『#おうちでプライド2021』裏側

本内容は、TRP note（https://note.com/tokyo_r_pride）にて発信した内容を再編集したものです。

TRP2021振り返りコラム

（文／広報局）

こんにちは！東京レインボープライド広報局です！
 TRPは、4月24日(土)～5月5日(水・祝)の12日間、オンライン「東京レインボープライド2021」の開催し、なんと、約160万人の方にご参加いただくことができました！ご参加いただいたみなさま本当にありがとうございます！
 今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの開催となりましたが、イベント内容はいつにも増して盛りだくさんでお送りした年になりました。その裏やTRPメンバーによる振り返りをご紹介します！

TRP2021に参加できなかった方、イベント自体を知らない方たちにイベント自体の振り返りをしたいと思います。

TRP2021のテーマは「声をあげる。世界を変える。Our Voices, Our Rights.」

これまでTRPのイベントは、LGBTQ当事者の方そうでない方でも関係なく、だれもが楽しめるイベントを試行錯誤しながら作ってきました。テーマも「LOVE」や「HAPPY」など普遍的なテーマに沿うことが多かったです。

しかし、TRP10周年を迎えたこの年にメンバーで改めてこれまでの活動を振り返り、ここ数年で「LGBTQ」「ダイバーシティ」という言葉は浸透し、理解が深まりつつあるけれども、当事者含め誰もが生きやすい社会への実現にはまだ

至っていないと感じていました。その根源には、差別・偏見、そこから起こる社会的課題が存在しており、法整備を含めた社会の仕組み、ルールが変わることが、LGBTQだけではなく、すべての人が生きやすい世界に変わっていくことに繋がると思い、このテーマに決定いたしました。

憲法や法律といった大きな枠組みのものから、日常生活の中で不自由を感じている学校や職場、地域の小さなルールまで様々です。「声をあげる」ことはとても勇気がいりますが、待っていても何も変わらないのであれば、どんな小さな声でもいいから、一人ひとりが自分のできるところから声をあげて自分の世界を変えてほしい。そして、それが多様な生き方を認め合う社会へと繋がっていく、そんな思いを込めています。

10周年特別企画メインビジュアルの一般公募

毎年テーマに沿ったメインビジュアルを作っているのですが、今年はTRP設立10周年ということで一般公募＆一般の方の投票でメインビジュアルを決めました！
 作品は、ヤマダケンさんの作品に決定いたしました。



メインビジュアルを一般公募にしたのは、10周年だからというもありますが、もうひとつは、コロナ禍で集まらない中みなさんが参加できる企画を何か作りたいという思いでした。
 この頃を振り返ると、去年の秋ごろはまだ代々木公園で開催することを模索していて、実施できたとしても入場制限をかけるなど、これまでのイベント規模での開催は難しいねとみんなで話していました。年に一度のお祭りを楽しみにしている方が多くいるのにその場を提供できない。いったいどんなイベントを作ればいいのか…と全員で頭を悩ませていた時期です。

その中で出た答えが、どんなイベントになるかわからないのであれば、スタッフだけでイベントを作っていくスタイルではなく、楽しみにしている方たちと一緒に作っていくような進め方はできないか、という答えでした。
 そして、そのひとつがメインビジュアルの公募と一般投票でした。もともと、公募をやりたいという意見は前からあったので、それが今年実現できてよかったです。初めて試みで細かいことをいけば色々反省点はあるのですが、集まらなかったらどうしよう…と最初心配していたのがウソみたいにたくさんの方から素敵な作品が届いて本当に感謝しております！

ご応募いただいた方、ご参加いただいた方々、ありがとうございました！最終候補に残った方たちの作品はTRPのWEBサイトでも紹介しているのでぜひ見てみてください。
<https://tokyorainbowpride.com/news/notice/18827/>



「#おうちでプライド2021」&「オンラインプライドパレード」



イベント前の振り返りが長くなってしまいましたが、TRP2021のスタートは、4月24日（土）、25日（日）に開催した「#おうちでプライド2021」&「オンラインプライドパレード」です。著名な豪華ゲスト16名の方たちと協賛企業様をお迎えし、5時間の生配信を展開。今年のテーマ「声をあげる。世界を変える。Our Voices, Our Rights.」を元に、SNSで「あなたの変えたいルール」を募集し、そのメッセージをゲストの方とともに考えていきました。

「同性婚の法制化」「差別禁止法」などの法制化に関することから、セクシュアリティやジェンダー、伝統的な家族観など、多様な生き方、考え方を認め合う世の中になるためにはどうしたらいいのかを、SNSと番組を通して、みなさんと共有できたと思っています。



TRP2021のポスターですが、こうして見るとバラエティ豊かで、幅広いテーマでTRP2021をお届けられたのかなっと思っています。簡潔に紹介してしまいましたが、コンテンツごとにドラマがあり、それぞれの部門ごとにドラマがあるので、次のページよりご紹介いたします！

『#おうちでプライド2021』振り返り

(文/営業局 今川)

どうも、こんにちは。TRP営業局の今川です。TRPに関わって5年以上、今年37歳で年齢的にも「OVER THE SUN」(※オバサンをコアリスナーに抱える人気Podcast番組)が心に沁みてるお年頃のサラリーマンです(ゲイ)。そんな私によるTRP2021の振り返り(主に営業局視点)。

来年こそは代々木公園にリアルで集まってみんなでパレードを歩きたい

2020年秋にTRP2021に向けてキックオフを切ったTRPメンバーは全員、そう思ってTRP2021の準備に取り掛かったのです。



※イメージ画像 この時は全てオンラインMTGです。筆者は右上。

勿論コロナに関して予断を許さない状況だったため、「もしも」の場合も想定してはいましたが、この時点ではまだまだ望みを持っていました。営業局としては代々木でのイベントを前提にして協賛メニューを組み、鋭意準備を進めておりました。

因みに、「営業局」はTRP2021のイベントに関連した協賛メニュー(ブースの出展・Webバナーや動画CMの出稿等)を企業やLGBTQ団体の方に提供して協賛金をいただく(ファンドレイズする)部局です。私以外にも合計で5人のメンバーが居て、例年であれば合計で約200弱の企業・団体さまとコミュニケーションを取っています。秋～年末にかけて営業局としては協賛メニューを作るというのがとても重要なタスクとなります。特に、TRP2020は代々木公園の開催準備をしていた途中で中止となったため、2,000万円以上の赤字が出た事もあり、工夫をしつつも協賛企業・団体さまに満足いただける内容にする必要があります。「来年こそは代々木で」とTRP2020の中止のご連絡をした際、企業・団体の方から本当に沢山の言葉をいただきました。

企業の予算確保の観点からは、早めの協賛メニュー確定→協賛メニュー案内が重要なため、なるべく早く仕上げなければならず、代々木公園でのイベントを主軸に置いた協賛メニュー(オフラインメニュー)を年末に完成させました。

そのためオフラインメニューを年末に一度、既存の協賛企業・団体さまにはお送りいたしました。しかし、落ち着いていたかに見えた東京での感染者数が11月に入りドンドン増えていきました。

日々悪化する状況にどうしたものかと悩む日々でした。そんな中、年始早々に行った緊急MTGで「オンラインを主軸

に据える」という方向転換を決定しました。振り返ればこの時決断しておいて本当に良かったと思います。いや遅すぎた位かもしれません。

方針転換が決定してから早速、協賛メニューの作り直しです。オンライン主軸にするために、

- ・動画コンテンツの盛り込み
- ・ブースのオンライン化

等の追加のメニュー組み込むとともに、(オンライン)研修コンテンツ・Web記事コンテンツなども拡充を行いました(オンラインメニュー)。協賛内容の修正が完了し再度ご連絡できたのは1月の末頃でした。



直前での方向転換で、本当に協賛企業・団体の方にはご迷惑をお掛けしたと思います。イベントに向けて準備がその分後倒れてしまうので、TRP一同土下座です。本当に。

しかし、「本当にリアルできるの?」という疑念が消えて「オンラインでやる」という事に決まったことでドンドンやるべき事が明確になっていきました。営業局としては固まった協賛メニューで、協賛企業・団体とのコミュニケーションを早速開始いたしました。

1～3月は特に営業局の繁忙期です。協賛メニューのご案内後は企業・団体さまからの質問や説明の為の打ち合わせ、お申し込み、お申し込み後の入稿物の回収などが一気に始まります。それを5人で分担しながら進めます。なかなかヘビーな面は否めない一方で、毎年協賛したいと言ってくれる企業・団体さまは増えているというのを肌で感じる事ができ、モチベーションにもなります。名だたる企業さまから問合せ・申込がいただけたりする事も嬉しいのですが、アライの社員様が社内をガンガン説得して協賛まで漕ぎつけてくれたなど、本当に有難いな、頑張らないとなと感じる場面が多々あります。

イベント直前まで吐くほど忙しくて余裕が無いのですが、年を追うごとに賑やかになって来ていて、最後に振り返ると毎年感慨深いです!

営業局だけではなく他のメンバーに助けられつつ、無数の協力の結果、2021年は完全オンラインという今までにないチャレンジをイベント直前に方向転換。もちろん協賛企業・団体の担当者さまにも例年にご負担をお願いする形となりましたが、一緒にイベントを作り上げる事ができ本当に良かったなと振り返る次第です。本当に無数にありすぎるんですが、そろそろ力尽きてきました。「生産性がない」「道徳的に認められない」「種の保存に背くもの」など口さがない事も言われますが、「負けへんで」スピリットで頑張っていきたいと思えます。来年こそは代々木でパレードをしたい…(祈祷)!!

『#おうちでプライド2021』振り返り! ~社会運動とエンターテインメントが、日本でもっと手を組めたなら~

(文/エンターテインメント局 白田廣子)

こんにちは。はじめまして。白田廣子と申します。私はTRPでエンターテインメント局(以下、エンタメ局)局長を務めています。私は日々コンテンツ&イベントの制作プロデュース、アーティストマネージメント等の業務を行う小さな会社を経営しています。バタバタ走り回っています。それが本職です。

そしてTRPの中核である「執行部」の一員になって早5年。過去に新宿2丁目で数年イベントを開催していたことがきっかけで、TRPに入りました。LGBTQシーンが長い歴史をかけて放ってきた「エンタメカルチャー」に魅せられたひとりです。性自認は女性、パンセクシュアルです。

さて、TRPのエンタメ局。それはどんな部局かといえますと、簡単に言うと「エンタメ性」のあるイベントや動画コンテンツなどを企画・制作する部署、といった感じでしょうか。具体的には、毎年GWに代々木公園で開催している「プライドフェスティバル」のステージ制作や、TRPのYouTubeチャンネルの動画コンテンツの一部制作他、広告効果が高く娯楽性を内包するようなコンテンツプロデュースを行います。具体的にいうと、去年から始めたTRPチャンネルで、すなわくニューレインボーはそのひとつです。



タレントさんやアーティストさんのキャスティング・ブックキング、ステージなどのイベントの場合は、音響さん照明さんなどの関連業者のアサインや調整も担当業務ですね。

そして、企画力も結構重要で、「こんなコンテンツが必要だね、あったら良いね、楽しいね、拡がるね」とゼロから1を生み出し夢を膨らませて実現に導く役割を担っています。TRPのミッションに寄り添い、必要と思われるコンテンツ発案はどんどん行なっていきますが、まだまだ足りてはおりません。そして私の勉強も追いついてはおりませんが生み続けるしかありません。そんな状況にあります(笑)。因みにこのエンタメ局は、2019年に組織されました。コンテンツを企画してみたいよ!プロデュースしてみたいよ!という方、絶賛募集中です。

そして、TRP2020。コロナウイルス打撃。

まさかのプライドフェスティバル開催中止。TRPとして

は、急遽かつ初のオンライン開催への舵切りをしました。この時は緊急事態宣言下で、日本だけでなく世界がどうなっていくかも分からないそんな状況の中で、何がなんだかもよくわからないままに制作とキャスティングの半分を行いました。

さて、ここまで読んでくださった方の中には、「なんでTRPにエンタメ性が必要なの? LGBTQ当事者のための人権活動団体でしょ? 社会運動でしょ? TRPは当事者のための団体なのだから、芸能人はいらなくない?」と感じた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。実はこれ、何かコンテンツを放つたびに、本当によく寄せられる皆様からの言葉なのです。「LGBTQ当事者じゃないタレントをなぜキャスティングするのか、当事者でかためるべきでは?」と。今年も例年にも増して、多くのこのようなお言葉をいただきました。

毎年いつもいつでもこれらのご意見を浴びながら、それでも制作をやめないTRP。そして私(笑)それにはしっかりとした理由があります。

まず理由「1」

私たちTRPのメンバーは皆、未来を良くしたい、社会を良くしたいとまっすぐに思っています。その想いで結束しているチームです。社会を良くする。それは、LGBTQ当事者であるなし関わらず、皆が生きやすい社会を作る、という意味です、そのためにはまず何を行う必要があるのか。突き詰めていくと、当事者・非当事者が共に互いの存在を知り、正確な知識や情報を伝え合い、理解し合うこと、その上で変わらなければならないことができたなら、変えていきましょう、ということだと思っています。

しかしそうはいっても現実問題、互いの違いや悩みを知る、認める、受け入れる、ってとても大変。それ以前に、ほとんどの人が、日々自分のために生きていて、自分のことを幸せにするので精一杯なのではないでしょうか。他人のことはどこかでやっぱり他人事。どうだっていいや、関係ない。だって現実社会は荒波だらけ。生きるってそんなに簡単なことじゃない、わかっちゃいるけど理想的にはいかないですよ、自分のことだけで精一杯よ!と。

私だってそんなことはしょっちゅうです。でもそれでもそこに抗って、そんなことはわかっているけれどそれでもなんとか「他者が抱える問題」を「自分事」に意識して欲しい、そうじゃないと誰もが生きやすい社会は作れない。そのためには、「多くの人のアテンションを引きつける何か」を催さなければなりません。ハッとしていただかなくては。あ、そうか、それは大事なことだ、自分も知って理解しておかなきゃいけないな、と。そのための、エンターテインメントの存在、著名な人たちの存在なのです。

私たちが招くタレントさんやアーティストさんのファンだから知った、でも、ちょっと気になるから遊びに行ってみようと思っています、ライブを観たいです、でもなんでもいい

(次ページへ続く)

のです。他人事に少しでも当事者意識を持ってもらい、LGBTQという単語に触れてもらうこと、空気を感じてもらうこと、まずはそんなきっかけとなればいいのです。そしてそのきっかけを作ることが本当に難しいのです。だってみんな自分のことで忙しいのですから、精一杯なのです。そんな大変な「きっかけ」として一番膨らませやすいのがエンターテインメントの力なのです。著名人の影響力をお借りして、情報を一斉に撒き散らし煽りアテンションをひくこと、そうやってまずは他人事だった方々に振り向いてもらう。そして近づいてきてもらう。そして、「可視化」が進むのです。

そして理由「2」

主に「著名タレントではなくLGBTQ当事者を出演させるべきでは？TRPはLGBTQ当事者のためのイベントでしょ？」と投げかけられる声に対して。

皆さんに今一度考えていただきたいことがあります。

これまで出演してくださった方々の中に、カミングアウトできずにいるLGBTQ当事者がいらっやっしたとしたらどうしますか？そう考えたことはありますか？公にはしていないけれどももしそうだったとしたら、皆さんの言葉はその方へどう伝わったでしょうか。その皆さんの言葉が相手を傷つけてしまうことにはならないでしょうか。

パツと見ではわからない他者の柔らかい部分。そこには配慮を持って丁寧に接していきましょと、これは再三私たちが自身が世間に訴えてきたことですね。でもそれとは逆の行為になってはいないでしょうか。

社会に理解し受け入れて欲しいと強く願うあまりに、自分たちの行動や言動が非当事者に対して逆差別的なアクションに発展してしまうこと、当事者・非当事者という強い区別意識を持ってしまうこと。これは今までLGBTQ当事者が置かれてきた立場から考えたら仕方のないことかもしれません。ですが、このような強い区別意識は、例えばエンタメ業界の中で生きるタレントやアーティストをカミングアウトから遠ざける理由にもなっているなど私は感じています。

当事者・非当事者は交わることができないのではないかな。つまり、カミングアウトをしてしまったら、自分は今いる非当事者の多い世界から追い出されてしまうのではないかな。区別されてしまう恐怖。それはイコール「仕事がなくなるかもしれない」という恐怖に繋がるのです。だから、カミングアウトはできない。それを選択するしかない。そういう考えに至ってしまう方々はいるのです。

そんな世界をも私は変えていきたいのです。これはTRPの執行部本部会議で、日々散々私が訴えていることです。私は「当事者」「非当事者」という単語が苦手です。こういう単語そのものが壁を生み出してしまっている気がするのですが、この単語を使わないとこの文章も書けない。それが歯痒い。それが現状の今、2021年てことですね。

欧米では、社会活動とエンターテインメントのエンゲージメントが力強く成されている光景をしばしば見せつけられます。そのスケール感は素晴らしい。例えば6月のプライド月間になると、多くのアーティスト、タレント、モデル、俳優、文化人、アスリートがレインボーを掲げる、そして多くのプライドイベントに出演を表明しています。SNS上が虹で染まります。記憶に新しいところと言えば、2019年のニューヨークプライド。レディガガさんやマドンナさんがライブやスピーチを当たり前のように行う姿は記憶に新しいところではないでしょうか。

エンターテインメントの世界に生きる著名人たちの影響力は、いわばガソリンです。「情報を効率的に撒き散らしていく」「伝播させる」ためにより速く走りたい、多くの人を巻き込みたい。そんな時にお借りしたいガソリンなのです。彼らはその「影響力」に磨きをかけ続けているプロなのです。共に歩むことができたのなら最高のサポーターとなってくれるのです。

ああ、はじめてこんなに真面目にかた一く文章を書きました。気付いたらこんなに長くなっちゃいました、すみません。文章を書くって難しいですね。TRPの中で一番バヤヤしているの、こういう時こそ真面目に書かねば、と気合入れたらこんなにカチコチ（笑）。

TRP2021の振り返りのはずが、全然本題に到達できておりません（笑）。色々裏話があるのにー！！

オンライン配信の舞台裏

（文／事務局 伊芸祐輝）

こんにちは。TRPの事務局を担当してます伊芸です。僕の主観で「TRP2021」のオンライン開催に至った経緯や裏側をお話させていただきたいと思います！よろしくお祈りします。

初のオンライン開催をしたTRP2020

2020年3月、新型コロナウイルスが猛威を振るい、緊急事態宣言が出るかもという話が出始めました。「今年は例年に負けない大規模なイベントをやりたい」。そう意気込んで準備をしていたTRP2020だっただけに、開催約1か月前のタイミングで中止にするべきなのか…メンバー全員が頭を悩ませておりました。そして、下した決断は代々木公園での開催を中止。意気消沈は大きかったことを覚えています。

けれど、中止を発表した後も本当に何もやらなくていいのか？何かできないかと、この状況下でどうやったら代々木公園でのイベントが開催できるのか？ということを探してきました。オンラインだったら参加者の安全を守れるイベン

トが実施できるんじゃないか？ということで、まだ当時は馴染みの薄かったオンライン配信に急遽チャレンジしてみよう！となりました。

というところまでが、去年の中止発表からオンライン開催に切り替わった経緯ですが、「・・・で、誰が配信作業するの？」という問題がすぐに上がります。そもそもオンライン配信の経験ないし、方法もわからないし、機材もない。専門会社に依頼するにも資金がないし、何よりあまりにも直前すぎる…。何度も慎重に話し合いを進めた結果、自分たちでできる最低限の範囲でやろうと決めました。といっても結局配信の知識がないことには変わりはなかったため、猛勉強するしかなかったんですよ。



もともとパソコン関係が好きだったので、僕が配信の担当になりましたが、今考えるとよく2週間で準備できたなって思います。笑

正直なところ、考えうる準備はしてきたから何とかなるだろうと思っていました。でも実際には、操作ミスはできない、流す順番を間違えてはいけない、音声チェックもしないといけない、放送事故を起こしてはいけない。もちろん配信は複数人で作業しているが、配信のPCは僕の操作。僕のクリック操作に全プレッシャーが襲いかかります。1日目に3分くらい配信が落ちてしまった時は本当にパニックでした。

この配信が終わった後の反省会で、「もう二度とやりたくない」と話したことは覚えています。笑

TRP2021もオンライン開催へ

そして今年も引き続き新型コロナウイルス蔓延防止の観点から代々木公園での開催を中止。前年の反省を生かし、オフライン開催の中止判断を1月には決定しました。判断を早めたことで、今年もオンラインイベントの準備にかなり時間を割くことができました。前年以上に多くの方のご参加をいただき、多くの企画を入れることにし、配信の作業も業者に依頼することにしました。その分昨年よりは「作業の面では」ゆとりができたと思います。

元々は昨年と同様に事務所内で感染対策をしっかりした上で自分たちの手だけで配信をしようと思っていました。配信機材やカメラ、マイクもしっかりと用意して、よりクオリティ

の高い配信を…と意気込んでいたけど、そういえば去年「もう二度とやりたくない」って感じてたこと忘れてました。そう考えてた時、配信会場にぜひうちを使ってくださいと、ギークピクチャーズさんにお声がけをいただきました！ギークピクチャーズさんのラウンジでは過去に配信をした実績もあり、その際の配信業者G.G.Cさんをご紹介いただきました。

配信業者に依頼し、配信会場もお借りできることになりましたが、3月下旬からはその調整が非常に大変でした。毎日のように打ち合わせを行い、秒単位の昨年以上に超細かいタイムスケジュール、出演者の方々のクレジットテロップを作ったりCMを編集したり、会場施工の背面パネルのデザインを作ったり…。なんだかんだ去年以上に大変でした。笑

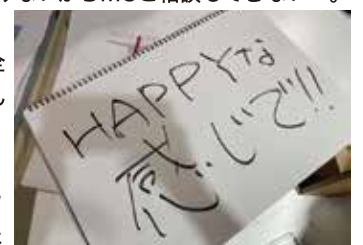
そして配信当日。とても素敵なお弁当が届きました。ポーク卵おにぎりに「レインボープライド」と焼印が押された特別仕様で配信前にテンション↑こういう配慮は本当に嬉しいですね。お弁当屋さんありがとうございます！



配信がスタートしてからは1時間ほどでは総視聴者数10万人を突破。その推移は去年の配信を上回る勢いでした。今年の生配信はかなりスムーズに進んでいき、順調…かに思えたんですが、やっぱり生配信にはトラブルがつきもの。

時間になっても出演者の方が連絡つかない、次の出演者の方に出演を繰り上げてもらおうにも直前のスケジュールのため繰り上げできない、配信も後半側であったため代わりに差し込めるコンテンツがない…。配信会場内はピンマイクで声を拾っちゃうから誰かと何かを相談するってのもなかなかできない、まだCMにもいけなからMCと相談もできない…。もう大パニックでした。

そんな中僕が出して全員をパニックに巻き込んだ渾身のカンペはこちら。



最後に。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年に渡りオンライン開催へと切り替えてまいりましたが、オンラインだからこそ参加できた方や、初めてTRPを知っていただいた等、新たな気付きとなりました。どんな時でも誰もが自分らしくあるために、歩みを止めず、東京レインボープライドは邁進していきます。一緒に声を上げていきましょう！



「はい！OKで一す、お疲れ様でしたー」

全文はTRP note (https://note.com/tokyo_r_pride) をご覧ください。



これまで、TRPでは「可視化」「場づくり」「課題の解消」をミッションに、年に1度のプライドパレード&フェスティバル（東京レインボープライド）の開催、教育・社会啓発活動、LGBTQに関する情報発信など、LGBTQに限らず誰もが笑顔で暮らせる社会の実現を目指して活動してまいりました。

その中で、TRP2019の「ユース&ファミリー」イベントの開催を機に、TRP2020では10代、20代のボランティアスタッフでユースイベントを計画するなど、若い世代を中心とした場づくりにも力を入れておりました。改めて、若い世代が考える「自分らしさ」や多種多様な価値観に触れて、彼らのリアルな声を発信していくことが同世代の悩みや課題の解消になり、様々な世代の声を届けることが個性を認め合う社会への実現であると考え、2021年2月に「YOUTH PRIDE JAPAN」（以下、YPJ）を立ち上げました。

YouTubeの「#TRPチャンネル」にて、YPJメンバーがLGBTQに関する話題をポジティブに発信していきます。



https://youtu.be/_aSgnzgbNi4



10代、20代がLGBTQについてホンネを語る！

- ・友だちとの会話で恋バナになった時。
- ・バイト先のおじさんおばさんに「彼氏(異性の恋人)いるの？」と聞かれた時。
- ・学校の授業で男女分けされた時。
- ・お父さんがLGBTQのことをSMTLと間違っていて覚えていた時。

<https://youtu.be/VsQWWqHGJRJU>



学校の制服についてどう思う？

- ・女子生徒はスラックスOKだけど、男子生徒はスカート着用はNG？
- ・教師だけにしか周知されない制服規定変更のお知らせ
- ・変わるルールと追いつかない生徒の意識
- ・今更買い換えられない高額な制服
- ・防犯や安全面も考えて制服着用ルールを作してほしい

<https://youtu.be/qsZIGs1blMm0>



SNSにレインボーフラッグのせてる？

- ・ストレートの友だちとはセクシュアリティについては話し辛い？
- ・SNSのプロフィールにレインボーフラッグを載せる意味って？
- ・自分を指す代名詞に何を使ってほしい？
- ・クエスチョニングってどんなかんじ？

https://youtu.be/--ue_c07Zro



TRP2021オンライン『#おうちでプライド』では、6名のYPJメンバー（みーや、シマコ、リリー、fumi、LUU、アンナ）と、ゲストに乙武洋匡さん、りゅうちえるさんをお迎えしテーマトークを行いました！

■マイノリティが生きやすい日本へのみんなの一步

みーや：第1部では、10代・20代のLGBTQ当事者やアライの方々から、ユースの公式Instagram (@youthpridejapan) を通して寄せられた質問や悩みなどへ回答していきます。まずは、アライの方からの質問「身近にいるLGBTQの方にどのように接したり、サポートすればいいのかわかるか？」。

シマコ：私はLGBTQの人だからといって、特別視はしていません。ただ、普段の学校生活の中で恋バナなどをしている時に、男女の関係を前提とした「普通」という言葉を使ったりしないよう気をつけています、この「普通」という概念を少しでも変えていくことで、社会はもっと良くなっていくと思います。



乙武洋匡<作家>：たまたま数が多い方（マジョリティ）だというだけで「普通」だとされる。自分が望んだわけではないのに、数の少ない方（マイノリティ）に比べると、

「普通」ではないと言われ、居心地の悪い、窮屈な思いをすることがある。多い方にいるから安心、少ない方にいるからといって居心地が悪いと思う必要はないんです。たまたま、多い方にいるか、少ない方にいるかの違い。どちらにしようが与えられる権利は同じであるべきです。



りゅうちえる<タレント>：みんな「普通」という言葉を使いがち。でも、それぞれが「普通」の概念を作っていないんだよ、と思っています。人は複雑なことが嫌いだから、

どうしてもわかりやすい方に「枠」をはめてしまったり、「あの人って普通じゃないよね」って考えがち。自分の意見を押し付けなくて、相手を尊重することが大切だと思います。こ

れからの時代は、自分の中で「普通」を決めつけない、配慮をして発言する、相手に接する必要があります。

リリー：アライの人からLGBTQをサポートしたいという意見が出ることが、そもそも当事者へのサポートになっていると思います。TRPなどのイベントに参加していることも、サポートにつながっていきます。直接的なサポートではなくても、まず、何か一歩を踏み出したいという気持ちを持つことが大事だと思います。

乙武：私が2010年まで小学校教員をしていた時に、保健の教科書にLGBTQについての記述がなかったんです。思春期の恋愛についても、男女間の恋愛が前提（＝普通である）という風に謳われている。これはおかしいと思って、私は児童たちに「恋愛には、男女間だけでなく他のケースもあること」「たまたま数は少ないかもしれないけれど、おかしいことではないし、笑っていいものではない」と教えてきました。すべての先生が、きちんとLGBTQについて正しい知識を教えられるように、社会を変えていく必要があります。

みーや：人それぞれの普通、らしさ、という観点でいうと、ファッションに関しても、自分らしさを表現する手段の一つです。最近では、性別の枠を超えたユニセックスなファッションやメイクも増えてきて、ジェンダー関係なく楽しむ人も増えてます。

りゅうちえる：自分がTVに出始めた5年ほど前は、男の子でメイクをするだけで、色々と言われたことも。今は男の子でメイクをする人も増えているし、自分らしく生きていける世の中になりつつあります。僕のように、男の子でストレートだけど、メイクをする人もいます。僕がメディアに出るのは、世の中には色々な人がいるということを正しく伝えていく必要があると思っているから。一人でも多くの人をエンパワメントできればと思っています。

**■もっと自分を好きになりたい！
—セルフラヴ・自己肯定感—**

みーや：LGBTQ当事者の意見を聞いていると、自分のセクシュアリティがよくわからない、自分に自信をもてない、自分らしさってなんだろう、と悩んでいるという話もよく聞きます。

fumi：自己肯定感について悩むのもよくわかります。私は、自分のファッションや見た目を他の人からかっこいいと言われるのは、自分の表現の一つなので嬉しい。一方で、内面では自信がないから、この言葉を素直に受け止められなかったり、自己肯定感にはそのままつながっていません。りゅうちえるさんは、メディアなどでセルフラヴ・自己肯定感について積極的に発信されています。ユース世代にメッセージがあれば教えてください。

りゅうちえる：まずは、自分の中にしっかりと軸を持つことが大事。例えば、他の人に褒められた時に、その言葉を素直に信じられないことがあると思います。でも、ポジティブに受け止めたほうが断然幸せに生きられる。雨が降っている時に「ああ雨が降ってる、やだな」と思うよりも「今日は傘持ってきた、ラッキー」くらいに思うほうが、幸せになれると思う。ちょっと極端なんだけど、褒めてくれた人ではなく、その褒められた言葉を信じるのとは一つの方法。そんな風に少し考え方を試してみたり、自分の中で軸を持つことで、自信やきらきらにつながる。そうすると生き方も変わってきます。

乙武：自己肯定感を高める第一歩として、自分に自信を持つ必要があると思う人が多い。これは実は大きな落とし穴。自分の「良いところ」も「ダメなところ」も受け止めて、はじめて自分のことを好きになれると思います。自分を愛するのではなく、自分を許せるということが重要です。相対的自己肯定感と絶対的自己肯定に分けることも重要。マイノリティだと自己肯定感を持ちづらいこともあるので、人からどう思われるかより自分がどう思うのかを大事にした方がいい。自己肯定感が低い人は、自分に厳しい人のこともある。自分に厳しい人は、ぜひ、周りの友達に自分の良いところを聞いてみるといいですよ。

LUU：私も昔、自分が嫌いで自信を無くしたことがあったんです。でも、どんなに自分を嫌いでも、自分とは距離を持つことはできない。自分の考えを打破するために、自分の良かったところを5つノートに書くことを日課にしたんです。最初はなかなか書けなかったんですが、「朝起きたら」とかささいなことでも書くようにして。見返してみると「意外と自分ちゃんとできている」って思うようになって、ちょっとずつ自信を取り戻すきっかけになりました。そこから自分を嫌いになる回数が減っていきました。

アンナ：素敵ですね。「セルフ・コンパッション（＝自らの欠点、失敗、さまざまな苦しみに直面した時に、自分自身への思いやりを実践すること）」という考え方にも近いかもしれません。自分の良いところも、悪いところも含めてすべて自分なんです。社会が作りあげた「普通」という型がある中で、「セルフラヴ」「セルフ・コンパッション」って難しいし、苦しんでいる人もたくさんいるかもしれませんが、他者に対して優しくするように、自分にも優しくすることも重要だと思います。



YouTube公開動画！

東京レインボープライドは2020年6月にYouTubeでチャンネルを開通し、2020年12月には登録者数1,000人を突破できました（2021年9月30日時点チャンネル登録者数：3,940人）。今後も、TRPのことやLGBTQに関することを発信していきますので、応援よろしくお願いたします！「YOUTH PRIDE JAPAN」の動画について（→P.20）

※再生回数は全て2021年9月30日時点

1.2万回再生!




<https://youtu.be/uRKlOWkKCW0>

【すなっくニューレインボー 1-1】新企画、開店！ゲスト：勝間和代さんと大人気モノマネ芸人のミラクルひかるさんが登場！？ママ：ブルボンヌ

1.6万回再生!




<https://youtu.be/LjC39y8KVY>

【すなっくニューレインボー 1-2】ミラクルひかるさん、性の悩みを真面目に告白

7.1万回再生!




<https://youtu.be/TVVu6d6hwZU>

【すなっくニューレインボー 1-3】勝間和代さん、カミングアウトのその後を語る

1.1万回再生!




<https://youtu.be/yXas3NnAOKU>

【すなっくニューレインボー 1-4】世の中すべてがグラデーション！第1回目、閉店！




<https://youtu.be/tf5UHU-4t8>

【おとなりさんちの台所 1-1】黒猫と暮らす料理好き TRP スタッフのこだわりキッチンで焼売を作ってみた！




https://youtu.be/D0M_vFcx28s

【おとなりさんちの台所 1-2】「運命」を感じた彼との思い出の味。30代、大人の恋バナ編。




<https://youtu.be/bW4pC1qoCQ>

【おとなりさんちの台所 1-3】別れは人生を見つめ直すチャンス！人生設計編+おまけトーク




<https://youtu.be/9pu5hEOZGZI>

【TRP×SPORTS1】滝沢ななえさんのパーソナルジムについてみた！～青春バレーボール時代編～

1.0万回再生!




<https://youtu.be/B7hY0FbKHbU>

【TRP×SPORTS2】滝沢ななえさんのパーソナルジムについてみた！～カミングアウト編～




https://youtu.be/PVduy_tv67s

【TRP×SPORTS3】滝沢ななえさんのパーソナルジムについてみた！～パートナーと長続きする秘訣とは？編～




<https://youtu.be/xAjmM04d61k>

【特別ゲスト：オードリー・タン】自由への手紙 - 東京レインボープライド特別編 - [COURRIER JAPON × TRP コラボ企画]




<https://youtu.be/dwvfxLRsT4>

『#おうちでプライド2021』直前スペシャル！




<https://youtu.be/DOa4Y-AW5z0>

【TRP2021】東京レインボープライド 10年間のあゆみ




<https://youtu.be/FkkT7jHvNvY>

ViiV TOKYO RAINBOW PRIDE スペシャルインタビュー【TRP2021 特別企画】




<https://youtu.be/rPGopk3UkKw>

株式会社セールスフォース・ドットコム スペシャルインタビュー【TRP2021 特別企画】



東京レインボープライド #TRP
チャンネル登録 お願いします
<https://youtube.com/c/TokyoRPride>



TRP2021「#おうちでプライド2021」レポート動画

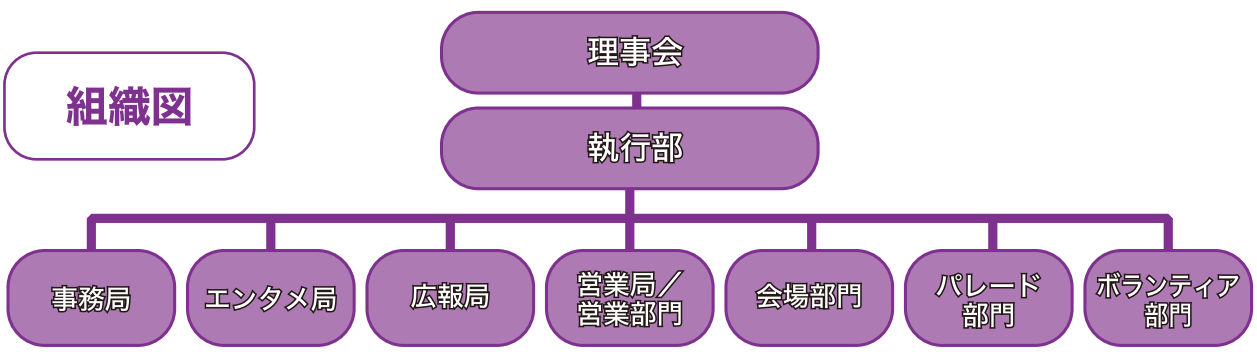
2021年4月24日(土)、25日(日)の2日間、16名の豪華ゲストとともに
行われたオンライントークライブ「#おうちでプライド2021」のダイ
ジェストムービーをお届けします！

https://youtu.be/HED60iB_OYE



東京レインボープライド 理事会・執行部メンバー

※ 2021年9月30日現在



寄付のお願い

私たちの活動を資金面からもご支援ください。
皆様から賜ったご寄付は、TRPの運営資金として活用させていただきます。

賛助会員入会

当法人の目的及び趣旨に賛同し、継続的に活動を支援して下さる個人またはコミュニティ団体、法人を募集しています。

- [会費]
- ・個人会員・コミュニティ団体会員 1口3,000円
銀行振込・クレジットカード
 - ・法人会員 1口100,000円
銀行振込（請求書払可）
 - ・1口以上をご納入ください。

[入会方法]
東京レインボープライド法人サイトの入会申し込みフォームより必要な情報をご入力いただき、必要な金額をご納入ください。



- 個人 <https://form.tokyorainbowpride.org/nposupm/form-supm-ind.html>
- 団体 <https://form.tokyorainbowpride.org/nposupm/form-supm-org.html>
- 法人 <https://form.tokyorainbowpride.org/nposupm/form-supm-com.html>

つながる募金

手軽に100円から！
ソフトバンクのiPhone、スマートフォンをご利用のお客さまが、募金を継続して携帯電話利用料と一緒に支払いやTポイントでお支払いいただけるサービスです。ソフトバンク以外の方がご利用になる場合、クレジットカードでのお支払いとなるため、クレジットカード番号等の入力が必要です。

「つながる募金」について
<https://www.softbank.jp/mobile/service/tsunagaru-bokin/>



URL アクセス
<https://ent.mb.softbank.jp/apl/charity/sp/careerSelect.jsp?corp=354>



銀行振込でのご寄付

銀行振込にて、寄付を承っております。
下記の銀行口座までお振り込みをお願いします。

PayPay銀行（銀行コード0033）
支店名：ビジネス営業部（店番号005）
口座：普通 1037082
受取口座名義：トクヒ）トウキョウレインボープライド
（特定非営利活動法人東京レインボープライド）

YAHOO! ネット募金 JAPAN

クレジットカードは100円から、
Tポイントは1ポイントから寄付できます。

寄付をするには Yahoo! JAPAN ID の取得（無料）が必要です。

URL アクセス
<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5205001>



特定非営利活動法人 東京レインボープライド
2020年度年間活動報告書

発行 特定非営利活動法人 東京レインボープライド
編集・デザイン 事務局 伊芸祐輝

特定非営利活動法人 東京レインボープライド
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-4-9 中江ビル 4階
Web (法人) <https://tokyorainbowpride.org/>
Web (イベント) <https://tokyorainbowpride.com/>
E-mail npoinfo@tokyorainbowpride.org
YouTube <https://www.youtube.com/c/TokyoRPride>
Twitter [Tokyo_R_Pride](https://twitter.com/Tokyo_R_Pride)
Instagram [tokyo.r.pride](https://www.instagram.com/tokyo.r.pride)
Facebook [Tokyo.R.Pride](https://www.facebook.com/Tokyo.R.Pride)

© 特定非営利活動法人 東京レインボープライド
無断転載及びSNS等での拡散禁止

らしく、たのしく、ほこらしく

TOKYO RAINBOW PRIDE

Web (法人)	https://tokyorainbowpride.org/
Web (イベント)	https://tokyorainbowpride.com/
E-mail	npoinfo@tokyorainbowpride.org
YouTube	https://www.youtube.com/c/TokyoRPride
Twitter	Tokyo_R_Pride
Instagram	tokyo.r.pride
Facebook	Tokyo.R.Pride